

育成を目指す資質・能力

【知識・技能】 議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解することができる。

【思・判・表等】 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主政治などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について、多角的・多面的に考察、構想し、表現することができる。

【学びに向かう力】 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。

ICT活用のポイント

オンデマンド教材を活用した反転授業（授業と家庭の学びをつなげるための予習）

【つかむ】

選挙の4原則は、現在の選挙制度に生かされてるか確認する。

なぜ、日本では複数の選挙制度を採用しているのだろうか。

【追究する】

日本の選挙制度の特徴を整理した上で、複数の選挙制度を採用している理由を考察し、グループで意見を交流する。

【まとめる】

複数の選挙制度を組み合わせる理由について、自分なりの考えを書く。

事例の概要

- オンデマンド教材を家庭学習として事前に視聴させておくことで、本時の課題解決の素地となる知識を習得する。これまでは、授業中に確認していたことを家庭で事前に学習しておく。

（反転授業）

【事例におけるICT活用の場面】①

- 家庭でオンデマンド教材を活用し、本時のねらいの達成に必要な知識を事前に理解させたり、課題に取り組みせたりする。
- 自分の考えを確実にもたせるために、オンデマンド教材を繰り返し視聴させ、既習事項を確認させる。

【事例におけるICT活用の場面】②

- 用語を理解させやすくするために、デジタル教科書の内容解説動画を視聴させる。

【事例におけるICT活用の場面】③

- 班の意見をまとめる場面で、プレゼンテーションソフトを活用することで、他のグループの意見を比較したり、共有したりできるようにする。

【社会科・中3・「現代の民主政治」】②

【事例におけるICT活用場面①】

オンデマンド教材を活用した
家庭での予習、授業中の振り返り

(予習)

ポイント 1 選挙の基本原則

② 選挙の基本原則

普通選挙：一定年以上のすべての国民が選挙権を持つ

直接選挙：有権者が直接投票を行う

平等選挙：有権者が一人一票を持ち、一票の価値が均等

秘密選挙：投票内容を他人に知られない



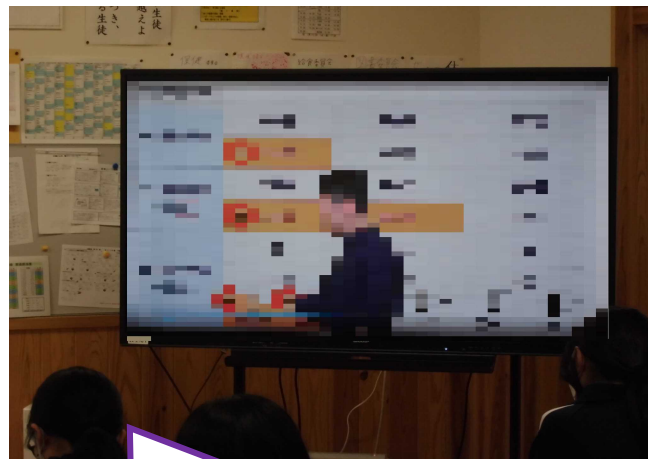
授業の前に、
見ておいたから、先生の話
す内容も分かりやすかった。

分からないときは、
授業中も見直せるから便利だね。

- ・ **オンデマンド教材**の活用を単元に位置付け、家庭で予習を行ったことで、**教師の説明する時間が大幅に短縮**された。選挙に関する4原則について簡単に内容を確認するだけで、次の活動に進むことができた。
- ・ **オンデマンド教材**を授業中に再視聴できるようにし、個々で課題に取り組む時に選挙制度の内容が分からなくなっても**自分で確認することができた**。内容の定着が図れ、課題に対して自分の考えをもてたりする生徒が増えた。

【事例におけるICT活用場面②】

デジタル教科書の内容解説動画の活用



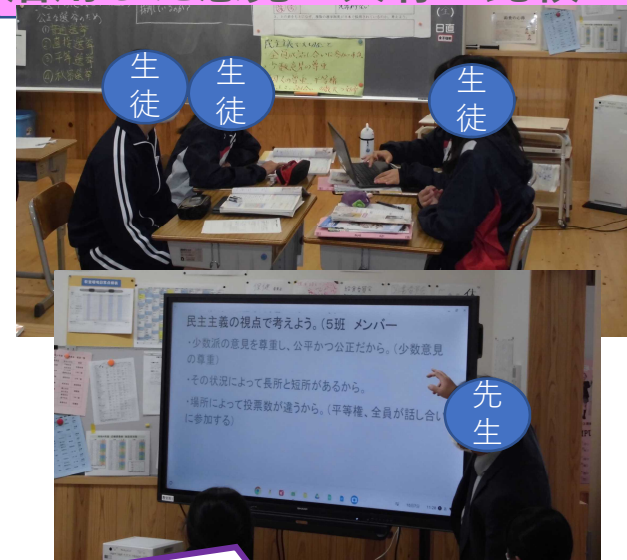
デジタル教科書の解説動画を見ると更に分かりやすいな。

日本の国政選挙における選挙制度を確認する際、**デジタル教科書の内容解説動画を視聴**した。解説動画を視聴させることで、日本の選挙制度を整理することができた。また、本時の**学習内容を再確認**することができ、**理解を深める**ことができた。

- ・ 予習型の学習を行うことで、生徒が**社会的事象について深く考えたり、自分の意見を書き、意見交流をしたりする場面が多くなった**。
- ・ オンデマンド教材を活用し、**協働的な活動の場面を増やした**ことにより、**教師が内容を教える役割から、考えを交流させる役割へと意識を変える**ことができた。

【事例におけるICT活用場面③】

プレゼンテーションソフトを活用した意見の共有・比較



じっくり時間をかけて、話し合いができた。
そのおかげで、よりよい考えを出すことができたね。

グループで出された意見を共有する際に**プレゼンテーションソフト**や**電子黒板**を活用したことにより、本時のめあてである「なぜ、日本では複数の選挙制度を採用しているか。」について、生徒が**考えを比較しやすくなったり、新たな気づきにつながったり**した。